

# 日本医史学雑誌 第四十四卷第三号 目次

## 原著

アメリカにおける人痘接種法——一七二二年からアメリカ独立まで——(その一)……………小田 泰子……………三〇三

医科大学国家医学講習科記録(生徒資料も含む)……………石崎 達……………三七七

モーゼス・マイモニデスの生涯(下)……………泉 彪之助……………三五二

憑きものの現象論——その構造分析(下)……………岡田 靖雄……………三六九

## 研究ノート

「解体新書」以前の「神経」概念の受容について……………松村 紀明……………三六五

## 広場

アルコールの語原クフル粉とバラ水——モロッコ・アラブ医学管見——……………泉 彪之助……………三九九

## 資料

適塾の塾頭をした筑後久留米藩医松下元芳……………中山 茂春……………四〇九

池田文書の研究(十七)……………池田文書研究会……………四四五

手塚良斎『医学所御用留』(二)……………深瀬 泰旦……………四一九

## 記事

### 消息

日本医史学会福岡地方会発足報告……………佐藤 裕……………四七〇

国際シンポジウム「21世紀を迎える精神医学史——東西二千年の精神医学」……………濱中 淑彦……………四八二

第37回医学史研究会・日本医史学会関西支部合同総会……………長門谷洋治……………四八九

日本医史学会関西支部一九九八年春季大会……………長門谷洋治……………四九〇

例会抄録

横濱軍陣病院における土佐・因州両藩の死者をめぐる………中西 淳朗……………三〇二

大隈重信の切断手術から健康生活へのセルフケアに関する研究……………坪井 良子……………三〇三

眼科医療器機史の CD-ROM 化……………奥沢 康正……………三〇四

船舶移送をうけた奥羽出張病院患者の転帰……………中西 淳朗……………三〇六

江戸の考証医家……………小曾戸 洋……………三〇七

紹介

三杉和章・杉田暉道共編『横浜と医学の歴史』……………三輪 卓爾……………三〇九

森納著『歯の民俗―民間信仰・俗信・くすり―歯の神様・仏様 あごなし地蔵』……………神原悠紀田郎……………三〇〇

鈴木七美著『出産の歴史人類学 産婆世界の解体から自然出産運動へ』……………石原 力……………三〇一

杉田暉道著『やさしい仏教医学 我が国最初のターミナルケア学』……………中山 沃……………三〇三

〈本号の表紙絵〉

一五 台山図 (部分)一

1996年10月19日、日本薬史学会の先生方のお伴をして、中国陝西省耀県孫家源村(西安北方約80キロ)の五台山、別名薬王山を訪問し見学した。この地には『千金方』で有名な孫思邈先生が住んだと伝えられ、山の北側の顕化台に道教式宮廟があり、高さ3メートルの孫先生の像が安置されている。

この図は、張世英編著の『千古名勝薬王山』1994年西北大学出版社刊～第1版の口絵～“五台山図”(1758年清乾隆23年、楊軍勤筆)の左半分である。

図にみられる如く下から141段の急な石段を登り、石の一天門をくぐって宮廟に達する。かなりきつい参詣である。廟域には医学著論陳列室、海上方をはじめとする石碑群陳列室、名医像陳列室等がある。また西側下には孫先生洗薬池もある。この図の道を右方へ向かうと孫先生の生活区・南苑に達する。

この台地の西北に孫先生の墳墓と伝えられる円墳がある。しかし疑問を呈する史家もいるそうである。

ともかく唐の古都西安からチャーターバスで往復1日を要した。(中西 淳朗)